



平成30年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月27日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6777-0870

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,206	0.3	205	2.5	210	0.9	141	18.7
29年8月期第1四半期	1,210	27.5	211	53.8	208	46.7	119	30.1

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 171百万円 (34.3%) 29年8月期第1四半期 127百万円 (56.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	3.50	3.44
29年8月期第1四半期	2.96	2.86

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	4,485	2,752	61.1
29年8月期	4,439	2,712	60.8

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 2,739百万円 29年8月期 2,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		0.00		3.30	3.30
30年8月期					
30年8月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,552	1.0	334	10.3	336	8.7	199	9.6	4.92
通期	5,434	9.9	819	2.4	824	3.3	478	10.7	11.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年8月期1Q	44,390,400 株	29年8月期	44,390,400 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年8月期1Q	3,895,200 株	29年8月期	3,904,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年8月期1Q	40,491,138 株	29年8月期1Q	40,297,059 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年9月1日から平成29年11月30日）につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業における飛躍的な成長」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

「出前館ファンの急拡大に向けた積極的な投資」につきましては、新規ユーザーの定着化を図るため、3回注文促進に取り組んできたことに加え、11月21日には、『出前館』での注文回数に応じた会員ステイタスを設定した独自のロイヤリティプログラム『出前にゃんクラブ』を開始しました。また、11月29日より、人気漫画「毎日があさん」とタイアップした「子育て応援キャンペーン」を開始しました。

「市場拡大に向けた店舗開拓」につきましては、シェアリングデリバリーTMの推進により、今まで出前を行なっていなかった「餃子の王将」や「天丼てんや」といった大手人気チェーン店及び地元の人気店舗が、『出前館』の加盟店舗に加わりました。また、ASAを中心としたシェアリングデリバリーTM拠点は順調に拡大し、11月末時点で合計17拠点となりました。

「店舗オペレーションの改善に向けた施策」につきましては、近年のタブレット・スマートフォンの普及率の高まりを受け、新たな注文伝達手段として、「出前館オーダー管理アプリ」をリリースしました。タブレット・スマートフォンを通じて、簡単に『出前館』経由の注文を受信できるだけでなく、お届け場所へのナビゲーション機能など、管理ツールとしても利用でき、加盟店舗のオペレーション負荷の軽減に役立つツールとして、加盟店舗への導入を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,206,868千円（前年同期比0.3%減）、営業利益は205,911千円（前年同期比2.5%減）、経常利益は210,482千円（前年同期比0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は141,786千円（前年同期比18.7%増）となりました。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	79,181	6.5	91,365	7.6	12,184	15.4
オーダー手数料	414,810	34.3	562,768	46.6	147,957	35.7
広告収入	9,225	0.8	4,879	0.4	△4,345	△47.1
システム受託開発	20,602	1.7	—	—	△20,602	△100.0
その他	136,546	11.3	199,892	16.6	63,345	46.4
小計 (当四半期ベース)	660,366	54.6	858,906	71.2	198,539	30.1
デリズ影響額(注)	167,499	13.8	—	—	△167,499	△100.0
連結範囲の変更に 伴う影響額(注)	13,596	1.1	—	—	△13,596	△100.0
小計 (前四半期調整後)	841,463	69.5	858,906	71.2	17,443	2.1
通信販売事業	368,751	30.5	347,962	28.8	△20,788	△5.6
合計	1,210,214	100.0	1,206,868	100.0	△3,345	△0.3

(注) 前第1四半期連結累計期間で当社連結子会社であった(株)デリズは、前第3四半期連結会計期間で株式を売却したことに伴い連結子会社でなくなっておりますが、前第1四半期連結累計期間の出前館事業に含まれておりました(株)デリズの影響額を「デリズ影響額」と記載する一方、連結範囲の変更に伴う影響額を「連結範囲の変更に伴う影響額」として記載しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるアクティブ会員数は約245万人（前年同期比23.7%増）、加盟店舗数は15,712店舗（前年同期比10.6%増）、オーダー数に関しましては約508万件（前年同期比34.1%増）となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、基本運営費91,365千円、オーダー手数料562,768千円、広告収入4,879千円、その他199,892千円となり、セグメント売上高は858,906千円（前年同期比2.1%増）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間に株式を売却した㈱デリズの売上の影響を除くと、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は前年同期比30.1%増となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、商品力の強化に取り組んでおり、主力の焼酎、2015年より販売を開始しているワインに加え、今年10月より新たにウイスキーの販売を開始しました。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は、347,962千円（前年同期比5.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で11,956千円増加し、3,531,828千円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が40,675千円、未収入金が49,685千円増加した一方、現金及び預金が100,551千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で34,371千円増加し、953,558千円となりました。増加の主な要因は、投資有価証券が43,625千円、ソフトウェアが18,440千円、ソフトウェア仮勘定が9,493千円増加した一方、のれんが25,808千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で46,327千円増加し、4,485,387千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で8,836千円増加し、1,706,853千円となりました。増加の主な要因は、未払金が124,647千円増加した一方、未払法人税等が76,439千円、1年内返済予定の長期借入金が25,209千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で1,748千円減少し、26,523千円となりました。減少の主な要因は、長期借入金が1,002千円減少したことによるものです。

純資産残高は、前連結会計年度末比で39,240千円増加し、2,752,010千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を141,786千円計上する一方、剰余金の配当を133,605千円支出したほか、その他有価証券評価差額金が30,153千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月12日公表の「平成29年8月期 決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,262,804	2,162,253
受取手形及び売掛金	407,735	448,410
商品及び製品	58,097	69,825
未収入金	736,208	785,893
繰延税金資産	22,637	22,637
その他	36,114	46,542
貸倒引当金	△3,725	△3,734
流動資産合計	3,519,872	3,531,828
固定資産		
有形固定資産	78,811	75,535
無形固定資産		
ソフトウェア	446,235	464,676
ソフトウェア仮勘定	5,818	15,311
のれん	68,655	42,847
その他	138	138
無形固定資産合計	520,848	522,973
投資その他の資産		
投資有価証券	196,285	239,911
差入保証金	62,592	63,197
繰延税金資産	37,888	24,330
その他	23,271	28,097
貸倒引当金	△510	△486
投資その他の資産合計	319,527	355,049
固定資産合計	919,186	953,558
資産合計	4,439,059	4,485,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,812	121,002
1年内返済予定の長期借入金	75,455	50,246
未払金	1,206,615	1,331,263
未払法人税等	151,950	75,510
賞与引当金	25,674	15,999
その他	126,509	112,830
流動負債合計	1,698,016	1,706,853
固定負債		
長期借入金	7,642	6,640
その他	20,630	19,883
固定負債合計	28,272	26,523
負債合計	1,726,289	1,733,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	634,703	635,819
利益剰余金	1,388,457	1,396,638
自己株式	△469,316	△468,258
株主資本合計	2,667,146	2,677,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,293	57,447
為替換算調整勘定	3,976	4,543
その他の包括利益累計額合計	31,270	61,990
新株予約権	8,280	7,585
非支配株主持分	6,073	4,933
純資産合計	2,712,770	2,752,010
負債純資産合計	4,439,059	4,485,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,210,214	1,206,868
売上原価	433,545	437,385
売上総利益	776,668	769,483
販売費及び一般管理費	565,524	563,572
営業利益	211,144	205,911
営業外収益		
受取利息	111	16
持分法による投資利益	2,285	3,789
助成金収入	1,900	—
その他	706	1,065
営業外収益合計	5,003	4,871
営業外費用		
支払利息	6,334	254
その他	1,139	45
営業外費用合計	7,473	299
経常利益	208,674	210,482
特別損失		
固定資産除却損	6,913	547
投資有価証券評価損	3,510	—
特別損失合計	10,423	547
税金等調整前四半期純利益	198,251	209,935
法人税等	79,251	68,707
四半期純利益	118,999	141,228
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△461	△557
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,460	141,786

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	118,999	141,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,323	30,153
為替換算調整勘定	△726	△15
その他の包括利益合計	8,597	30,138
四半期包括利益	127,596	171,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,057	172,506
非支配株主に係る四半期包括利益	△461	△1,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	841,463	368,751	1,210,214	—	1,210,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	34,652	34,652	△34,652	—
計	841,463	403,403	1,244,866	△34,652	1,210,214
セグメント利益	232,150	67,141	299,291	△88,147	211,144
その他の項目					
減価償却費	49,388	1,832	51,221	—	51,221
のれん償却額	11,217	25,708	36,926	—	36,926

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,147千円は、報告セグメントの減価償却費△51,221千円及びのれん償却額△36,926千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	858,906	347,962	1,206,868	—	1,206,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	44,989	44,989	△44,989	—
計	858,906	392,951	1,251,857	△44,989	1,206,868
セグメント利益	221,620	48,748	270,368	△64,457	205,911
その他の項目					
減価償却費	35,800	2,948	38,748	—	38,748
のれん償却額	—	25,708	25,708	—	25,708

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,457千円は、報告セグメントの減価償却費△38,748千円及びのれん償却額△25,708千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。